

様式5 - 2

議 案 の 提 出（その2）

発議第 4 号

議第47号 令和元年度米沢市一般会計補正予算
（第3号）に対する附帯決議

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

令和 元 年 8 月 28 日

提出者	米沢市議会議員	島 軒 純 一
賛成者	〃	中 村 圭 介
	〃	相 田 克 平
	〃	山 村 明
	〃	我 妻 徳 雄
	〃	佐 藤 弘 司
	〃	
	〃	
	〃	

米沢市議会議長 様

(別紙)

議第４７号 令和元年度米沢市一般会計補正予算（第３号）に対する附帯決議（案）

この度上程された議第４７号令和元年度米沢市一般会計補正予算（第３号）には、天元台ロープウェイ搬器等修繕に係る費用及び株式会社天元台運営支援補助金が含まれているが、突風による不慮の事故での搬器修理とそれに伴う減収については理解せざるを得ない。

しかし、この度の事故後の対応においては市当局及び運営会社の判断の甘さが見られる。例えば、搬器が使えず車両による代替輸送に係る運賃の徴収について、運輸局の言うままに徴収はできないと判断し議会に説明してきたが、議会から「何らかの形で運賃相当分をもらうことを探らなければ、経営が立ち行かなくなるのでは」との指摘を受け、運輸局からも「協力金ならば」ということを確認して協力金の徴収を始めたことなどである。また、経営に資するという意味で言えば、ロープウェイ運行と同等の金額設定が必要だったのではないか。この点から見ても「何としても利益を確保しなければならない」という強い意志が感じられない。さらに、一定の経営努力は認めるものの、「天元台サポート倶楽部」への積極的な加入促進や、多くの企業で採用しているクラウドファンディングによる資金調達等、経営改善に向けた方策は数多くあり、現在、万全の手を尽くしているとはいいがたい。

米沢市も今後人口減少が見込まれ、それに伴う税収の減少などから、いかに天元台に価値があっても、恒久的な支援が難しくなることも予想される。

以上のようなことから、この機会を捉え、将来にわたって米沢市の素晴らしい自然と公益性を兼ね備える天元台高原を末永く持続するために、下記について対応を求める。

記

- 1 今回の事故を運行開始前までにしっかりと検証し、二度と同じような事故が起きないように万全な再発防止策を講ずること。
- 2 持続可能な会社経営を目指し、米沢市と運営会社が一丸となって新たな運営方針や経営改善策を策定し、早期に取り組みを行うこと。

以上